

極端なる
男尊女卑

一夫多妻

信教以外、服装に、言語に、全然支那化したる彼等は、何を苦んで相率る相謀り反亂を敢てせんや。滿、漢人の彼等を遇するに、對等の情誼を以てせず、徒に人種の別、信教の異なるが爲め、排斥するが如きは、却て反動の念を高からしむるの愚を免れざるなり。

第十四節 男女の關係

各種族間男女の關係如何を觀るに、總て不平等にして、男尊女卑の極端に陥れり。然り、男子は總て女子を物品と同一視し、女子に人たるの資格を附與せず。甚しきに至ては、妾婢を賣買する者あるに至る。

纏頭回は、宗規に則りて、多妻主義なり。富者は二三人の妻を娶る。哈薩克は尙ほ纏頭回よりも甚しき多妻主義とす。彼等貧者も、二三人の妻を有し、富者は一人にして十數人の妻妾を有する者あり。蒙古族は、一夫一婦主義にて、其の喇嘛僧は妻帶せず、外見甚だ善知識なるが如きも、濫りに他の婦女の貞操を破壊して憚からず、醜聞常に絶えざるは、喇嘛僧の常態なり。